

ふれあいのある家庭・地域づくりシンポジウム



子どもたちも積極的に意見をだしました(分散会)

青少年育成茨城県民会議では、青少年(子)と大人(親)が一堂に会し、青少年が心豊かに育まれる「家庭のあり方」について考え、相互の理解を深めるとともに、その実践を目指した「ふれあいのある家庭・地域づくりシンポジウム」を開催しています。

平成17年度も、この種の事業が県内の各地域で開催されることを願い、当会議内に企画委員会を設置して、応募のあった4地区を指定し、モデル事業として実施していただきました。指定地区で組織された運営(実行)委員会には、アドバイザーを派遣し助言や協力を行いました。

平成17年度指定地区 (開催日)

青少年健全育成さかい町民の会	(12月4日)
大洋PTA連絡協議会	(")
鹿嶋市青少年育成市民会議	(12月17日)
青少年を育てる玉里村民の会	(3月4日)

指定地区でのこの運営(実行)委員会は、青少年育成市町村民会議やPTA連絡協議会を軸にさまざまな育成団体で組織され、地域で青少年を育むネットワークづくりが進められました。

地域の特色を生かして開催した4地区の活動内容は、「モデル事業報告書」で紹介しています。

(報告書を差し上げます。)

ごちねっと寺子屋 ~おはなし塾~ しゃべり場 Part2 が開催されました

平成16年度モデル指定地区の「水戸五中学区青少年育成会」は、平成17年12月4日(日)、水戸市立第五中学校を会場に、「しゃべり場Part2」を開催しました。テーマは「ケータイって何?」。子どもと大人あわせて100人が参加し、活発な話し合いが繰り広げられました。

青少年を取り巻く有害環境対策の推進

青少年を取り巻く社会環境が大きく変化し、青少年の成長に強い影響を与えています。

特に、有害な図書やビデオの氾濫、携帯電話やインターネットの普及に伴い新たな問題が生じています。

このため、青少年育成茨城県民会議は、有識者、関係機関・団体の代表者で組織する「青少年を取り巻く有害環境対策実行委員会」を設置し、3つの事業を行いました。

1 青少年を取り巻く有害環境実態調査

青少年がよく利用する書店やコンビニエンスストアなどの店舗を訪問し、有害情報の実態調査を行うとともに調査報告書を作成し広く公表しました。

(報告書を差し上げます。)

また、この調査で育成者とお店のコミュニケーションも図りました。

(茨城県青少年相談員連絡協議会に事業委託)

2 メディア対応能力養成事業

小・中学生と保護者を対象にインターネット上におけるコミュニケーションマナーやルール、情報発信に伴う責任等について学び、あわせて様々な情報を主体的に読み解く能力を育成するセミナーを県内4会場で開催しました。

(茨城県PTA連絡協議会地区協議会等と共催)

3 青少年のための社会環境浄化フォーラム

携帯電話やインターネット利用に係る危険やトラブル



「ケータイ」てなあに

の対処法を子どもや保護者、地域の大人たちが一緒になって学び、有害情報から青少年を守る取り組みを推進するため、平成18年1月15日(日)つくば国際会議場でフォーラムを開催しました。700人の参加をいただきました。

このフォーラムの演劇を通した「IT安全教室」では、トラブルの事例や対処法を県立取手第二高等学校の生徒の皆さんにも紹介していただきました。

また、「ケータイって何?メディア社会をよりよく生きるために」をテーマに保護者や高校生、先生、IT専門家によるパネルディスカッションを行いました。

社会環境浄化活動として7月と12月に、日本たばこ産業(株)水戸支店、市町村民会議、行政機関等と一緒に「未成年者喫煙防止キャンペーン」を実施しました。